

ジャパンプラブ

NEWS LETTER

Japan Club : 1759 Sutter Street #203, San Francisco, CA 94115 • Tel: 415-931-9424 • www.jpclub.org • jc-sf@sbcglobal.net

2月度理事会議事録

恒例「餅つき新年会」今年も盛大に開催

初めての試み「今月の理事会はインターネット上で」

ジャパンプラブ2月度理事会は標記の通り初めての試みとしてインターネット上でメールでのやり取りの形で開かれました。まだまだ新しい試みが定着する迄は時間がかかりますがこれからも議題によってはこの形をとりたと思っています。

1) 餅つき新年会報告

会員及びゲスト67名が参加して開かれた今年の「餅つき新年会」は前日迄の天候と打って変わった晴天に恵まれ、新年を祝う清々しい気持ちを高めてくれました。

北哲也理事の司会によって始まった新年会、上野会長挨拶(大隅理事代読)、長嶺総領事の年頭の辞(下記要約参照)に続いて「餅つき」が始まりました。

今年の餅つきは皆さんのおかげでかなりスムーズに進められたと思います、また楽しみの一つである粕汁、いなり寿司等盛りだくさんの美味しい料理が並び多くの参加者が何度もサービング・テーブルに足を運んだ事でしょう。

食事の後は長部正太さんの軽快なリズムに加え幾多の楽器の音色を奏でるエレクトリックピアノの楽しさを聞かせていただきました。

これら全て、会員及び担当役員の献身的な援助によるもので、相互扶助を謳うジャパンプラブならではの素晴らしいチームワークでした。いなり寿司、サラダ、キムチなど美味しい食事を用意していただいた福光夫人、粕汁担当の大槻さんを始めお手伝いいただいた大勢の皆様にお礼申し上げます。

尚、会員のウオルッシュ文子さんから多額のドナーেশョンと川野征三朗さんから今年の餅つき用餅米全てをご寄付いただきました、この紙面を借りてお礼申し上げます、ありがとうございます。

会計報告(詳細は沖山会計理事が保管しております)

収入 \$1,265 (参加費とドナーেশョンを含む)
 支出 \$1,348.08 (会場費、謝礼、食材費、什器等の備品)
 計 △\$83.08

2面にも写真があります

2) 講演会

今井利和会員による講演会を予定しております。内容は下記の通りです、決して難しくまた堅苦しいお話ではありません。

日時: 3月中旬(決まり次第追ってお知らせします)

場所: 日米会会議室(1759 Sutter St. San Francisco)を予定

会費: お一人2ドルでお茶とお菓子を用意いたします

内容: 「先のタイ訪問」について

- ・バンコク、タイでのMRI (Magnetic Resonance Imaging) ツアーについて
- ・費用の事、保険の事、日程の事など日本やアメリカの現状と比較しながら
- ・タイの観光とバンコク名門ゴルフツアー、市内観光と世界遺産の旅(アユタヤ遺跡、ビルマのアンコールワット遺跡) ツアーの経費、バンコクの治安、物価、経済・・・等々
- ・質疑応答の時間

尚、この講演会に引き続き赤川稔会員による「旅行を楽しむ同好会」の発足発表と今井利和会員のタイ訪問こぼれ話等で楽しい団らんを持つ予定です、ご自分の楽しかった旅行の話等、どなたでも気軽にこの話の輪に参加して下さい。

さらに多くの同好会を作るためまず始めに理事の中で専門分野、得意分野や趣味の中から提案していただくことになりました。こんな同好会があったらいいな~と思われる方は事務局迄ご連絡ください。

3) その他

- ・会員継続の手続、会費納入のお済みでない方は締め切りを2月末日迄伸ばしましたので至急お送りください。
- ・ガレージセールは5月8日(土)に開催する事に決まりました、詳細は追ってお知らせしますが今からお使いにならないもの等ドナーেশョン出来るよう残しておいて下さい。

次回理事会は、2010年3月3日(水) 6:30より日米会会議室に於いて開かれます。

年頭の辞 長嶺安政総領事

明けましておめでとうございます。今年は2000年の始めの10年が終わり次の10年が始まるにあたり、日本の最近の状況は「元気がない」中国やインドに追いかけているが大丈夫なのだろうか? と皆様は心配しているのではないかと思います。鳩山総理大臣が国会で演説した最初の言葉が「命を守ろう」でした、これは最近起きたハイチでの大災害で幾多の人命が失われ、如何に人命が大切であるか、又災害に遭遇された人達に助けが必要であるかと言う事ではないかと思います。



これははジャパンプラブが創立された趣旨の“お互いに助け合おう”と云う概念に沿ったものであると考え、総領事館としてもいろいろな形でネットワークを広げ、協力して行きたいと思っています。

今年もジャパンプラブの皆様のご健康とご発展をお祈り致します。(要約)

新会員紹介

青柳 伸之さん

「日本でも失われつつある伝統行事“餅つき”を仲間と共に10年以上続けて、毎年新年を祝っていると云う事にまず感動しました」1月31日のジャパクラブ餅つき新年会に出席後、目を輝かしながら“私も喜んで会員になりました”と語る青柳伸之さん。

留学時代から数えて20年以上もサンフランシスコで生活しており、当時から数々の日系団体の存在は知っていたものの、どの会にも入る事は無かったとの事。1998年アルバイト先だった当時の北米毎日新聞社で勤務していた斉藤篤子さんと知り合い結婚、帰国。新婚時代は千葉で暮らし、長男ジャスティン君をもうけ2000年一家で再渡米、デイリーシティに居を構え、2001年から日本語補習校の事務局長に就任し現在に至る経歴の持ち主。

「アメリカに住む子供たちに日本語教育を通じて日本の良さや伝統文化等を教える立場にいる人間として必要な知識等を経験豊富な先輩の大勢おられるジャパクラブの会員から教えてもらえる機会も多いと思い、良い所は大いに吸収しながら、また私自身も少しでも会のお役に立つ事があれば協力していきたい」とジャパクラブへの期待も大きい、頼もしい新会員は41才。

ちなみに青柳さんの奥さん、篤子さんのお父さんはかつて加州住友銀行のリーダーのお一人としてジャパクラブ会員の沖山泰彦さんや山川さとしさんと当地で活躍された斉藤謙一さん、ご記憶の方も多いかと思いますが現在はハワイ・ホノルルでご夫人共々お元気で悠々自適の生活をされているそうです。緊急連絡網グループはPN-1、地域担当者は広久寿さんです。



「餅つき新年会」写真：賑わう会場、ピアノ演奏する長部正太さん、初挑戦の餅つきを楽しむ赤川さんと娘さん（写真提供 大隅さん、浦田さん）

2010年1月12日ハイチで地震が起きました。首都ポルトープランスは、阪神大震災に匹敵する震度7以上の激しい揺れに見舞われたそうです。赤十字も国際赤十字チームとして救助にあたっています。US Geological Survey (USGS) の調べによると、2032年までにサンフランシスコにマグニチュード6.7以上の地震が62%の確立で起こるといわれています。

皆さんもご存知の通り、赤十字は地震が起こる前の事前準備として3つのステップをご案内しています。「ステップ1：計画を立てる」「ステップ2：防災セットを用意する」「ステップ3：事前に知識を身につける」です。皆さんにはすでに昨年の12月に防災セットをご用意頂きましたので、今回はステップ1と3についてお話いたします。

ステップ1：《計画を立てる》

- 話し合う** 身近で起こりうる災害について家族で話し合い、協力して取り組めるように計画を立てる。
- 計画する** 災害発生後の集合場所を2ヶ所決めておく。
 - ・災害などの緊急事態の場合：自宅前(屋外)
 - ・家に戻れない場合や非難勧告が出た場合は：自宅周辺(広域避難場所)
- 把握する** 電気、水道、ガスなどをいつどのように止めるかを知っておく。家庭に置いてある消火器の使い方を事前に理解しておく。
- 防災グッズ** 災害必需品を定期的に点検して、6ヶ月ごとに水や食糧を取り替える。
- 確認する** 家族全員で緊急連絡先の保管場所を確認しておく。その連絡先は人数分コピーしておく。その際、電話不通時に備えて遠方地域の連絡先も載せておく。
- 避難訓練をする** 毎年2回、家庭内で避難訓練をする。計画した避難経路を運転し、道路が塞がっていたりした場合に備えて別の行き方も地図上で確認しておく。

地震に備えて
ハイチの地震を対岸の火事と思わず
改めて地震に対する心構えを考えましょう
米国赤十字社・成見眞衣さん 寄稿

ステップ2：《防災セットを用意する》 省略
ステップ3：《事前に知識を身につける》
以下の3ステップは、緊急事態での対応に役立ちます。

- ・現場が安全かどうか状況確認をし、被災者が命に関わる状況かどうか確かめる。
- ・911か地区の緊急連絡先に電話をして、救援を求める。
- ・救急隊が駆けつけるまでの間、被災者の手当をする。

地震の最中、地震後のスローガン： 伏せる、守る、そして待つ
室内にいる時： 床に伏せて、テーブルなど重い家具の下に身を隠し、片手で頭を守って、もう片方の手で家具を放さないようにする。
屋外にいる時： ビルや電灯、木、電線などから離れた広い場所へ避難する。
地震後： 二次災害に備える。

応急手当、心配蘇生法、A E Dコースのお申し込みは、下記までお問い合わせください。
“<http://www.redcrossbayarea.org>”
又は、www.redcrossbayarea.org
(電話)1 (888) 443-5722
ラジオ局 740AM, 810AM, 88.5FM
等でも情報収集が出来ます。



この写真は、実際今回のハイチの地震で赤十字が活動している様子です。

米国赤十字社の
緊急連絡カード

遠方連絡先
名前： _____
電話番号：(昼間) _____
(夜間) _____

近距離地域連絡先
名前： _____
勤務先電話番号： _____
自宅又は携帯番号： _____

緊急時集合場所
自宅周辺： _____
公共施設： _____
勤務先の避難場所： _____
学校等の避難場所・電話番号： _____

赤十字連絡先 1 (888) 443-5722

(注)ご自分の属する「ジャパクラブ緊急連絡網」の地域担当者名と電話番号を必ず書き加えておいて下さい